



子どもたちの健やかな成長、見守りたい

病後児保育で子育てサポート 鈴木詠子議員

問 令和3年度は744万円、令和4年度は520万円と減額での予算計上となっていますが、その理由は。

答 令和3年度は200人を見込んだ予算でしたが、令和4年2月時点での利用者が9人でした。今後も対象となる保育所や小学校にも周知していきます。



私もひと言

病児保育があると嬉しい

子どもは小さいほど、その日にならないと体調がわからないんです。病後児保育だけでなく、子どもが急な熱で仕事が休めないときの「病児保育」があると助かりますね。

たじまゆか 田島佑華さん(用土)

ギカイの視点

議論を尽くした上で、賛否が分かれての可決と、表面的な質疑だけでの全会一致の可決。同じ可決でも、中味の濃さと事業執行の緊張感、そしてどちらが町にとって有益かは明らかです。議論が白熱すると感情的になりがちですが、

子育て・健康

ジェネリックの利用は進んだか 大澤 博議員

問 ジェネリック医薬品利用差額通知作成委託料の内容は。

答 正規品との差額が300円以上ある方に、年3回の通知を発送しています。件数は年間360件です。令和2年度の数値シェアは81.1%でした。



私もひと言

ジェネリック薬品の利用を

一人で飲食店を経営していますがコロナ禍で客が減り大変です。持病もあるので、医療費を少しでも安くしたいです。

そうまかつよ 相馬勝代さん(男衾)

ケア労働者の処遇改善へ！ 田母神節子議員

問 国は「コロナ克服新時代開拓のための経済対策」助成金を保育士等の賃金3%、月額9000円程度引き上げました。当町は保育士108人分・指導員60人分が計上されました。今後も毎年継続されるのですか。

答 国のケア労働者の賃金引上げのための補助は、今後も継続されるものと考えています。



私もひと言

今後の予算にも期待します

現場で働く者にとって危険手当が無いので、うれしい助成金。長く保育に携わりたいので改善に期待します。

いぬづかあきこ 犬塚晶子さん(鉢形)

議論の先に見えるもの

それも町の将来や町民生活を第一に考えた熱意のあらわれ。議論を尽くした予算が、期待通りの成果を上げ、町民に喜ばれるものとなるよう、しっかり見ていきたいと思ひます。

——予算を可決した議会の責任として。

先生、保護者の意見織り込むべき 権田孝史議員

問 男衾中の改修事業には、先生方や生徒・保護者の方の意見が織り込めるのか。

答 男衾小・男衾中に児童生徒が在籍している家庭には、春休みを利用して改修に向けたアイデア募集を行うなど、多くの方々の意見等を参考にして設計を進めていきます。



私もひと言

子ども達をよりよい環境で

子ども達が個性を生かして楽しく学べる学校教育と、よりよい環境づくりをお願いしたいですね。

よしかわ 吉川きよみさん(男衾)



町の公共施設の維持費は毎年約21億円不足…どうする！

折小、鉢小、城南中の未来は 吉澤康広議員

問 「折原小と鉢形小の集約」「小中一貫教育を念頭に城南中学校区の集約化」を目指し、調査検討委託料を予算化していますが、調査内容は。

答 集約化に向け、将来の児童数や施設の規模、概算事業費の算出等をし、折原と鉢形両地区の方々と検討させていただき基礎資料を作成します。



私もひと言

ソフトもハードも充実を

子どもの自己肯定感を高め「生きる力」を育むため、ソフト面・ハード面双方の充実を期待します。

ほりこしほなみ 堀越穂波さん(市街地)

男衾中学校改修のゆくえは 笠原則夫議員

問 男衾中大規模改修設計業務の中でアスベスト調査と防水調査は行うのか。

答 アスベストは調査予定。防水も、屋上や外壁について調査を予定しています。

問 アスベストの工事への影響は。

答 実際に工事をする際には、周囲にアスベストが飛散しないよう、対策を講じて実施します。



私もひと言

息子たちは間に合わず、残念

卒業した長男と中3になる長女には間に合わなかったですが、次世代の子ども達には、よろしくお願いします。

あらいもとひろ 新井基広さん(男衾)

小中校舎の一体感高めるべき 稲山良文議員

問 男衾中は、大規模改修による良好な学習環境で小中一貫校を建物分離型で実施となりますが、小中校舎の一体感のため、連絡橋で結ぶことを設計に反映させてほしいが、いかがですか。

答 小中学校の距離などを考慮すると、渡り廊下で対応したいと考えています。



私もひと言

大型改修事業が順調に進行

建物一体型の一貫校が望ましいですが、校舎に一体感を持たせることで生徒の一体感、共通認識が高まります。

あらいかずみ 新井和美さん(西部)

次世代の学校モデル 城南地区から 原口 孝議員

問 鉢形・折原小学校集約は一貫校・一貫教育に向け、調査検討に当たってどのような体制づくりを行い、取り組むのですか。

答 調査検討業務で得た資料をもとに、16名程度の関係者による検討協議会を立ち上げます。一部の増築や工事等、また学童保育施設等を含めて検討課題とし、地元関係者と話し合いを進め理解を得ていきます。



私もひと言

公立小中一貫校への希望

施設が一体型で9年間学べる環境は中1ギャップもなく、知育・体育・徳育に最適。ぜひ具現化を。

ひらのまさき 平野政樹さん(鉢形)